

ようじえんだより 2016年度7月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

7月主題『ふれて』

主題聖句：探しなさい。そうすれば、みつかる マタイ7章7節

☆ 0～2歳児：動くことがうれしくなり、満足して過ごす。土・砂・水にふれて遊ぶ。友だちや友だちのしていることに興味を持つ。子どもの育ちを保護者と共に分かち合う。

☆ 3～5歳児：神様の創られた自然にふれ、親しむ。土・砂・水にふれ、心と身体を解放させて遊ぶ。やりたいことやいっしょにいたい人がはっきりしてきて、遊びが続くようになる。子どもの育ちを保護者と共に分かち合う。

焦らされる親たち

イギリスのEU離脱の国民投票の結果は、特にグローバル経済の影響が大きいと言われます。どの国においても中間層が分解され、安い賃金で働かされる労働階級の人たちが増え、それに対する不満が増える移民に向かったり、産む子どもを少なくして、その子どもに大量の教育資金をつぎ込み英才教育を施そうとする姿は日本だけでなく先進国全体にみられる傾向です。そこには子どもの将来に不安と焦りを抱える親の思いがあるのでしょう。

親の思い、子の思い

7月の主題聖句は「探しなさい。そうすれば、みつかる」ですが、聖書ではこの聖句の直後にこんな言葉があります。「あなたがたのだれが、パンを欲しがると自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがると、蛇を与えるだろうか」。愛する子どもの欲しがるとものを与えたいと思うのが親心ですが、子育てにおいて最も悲劇なのは、親はパンを与えているつもりでも、子ども

にとってはそれは石だった、というケースでしょう。子どもは乳児ですでに自分の意思を表明します。幼い時はグズるという形で表し、親もその気持ちを受け止めてくれます。しかし言葉を操り、生意気なことも言うようになると、親は子どもの言うことをあまり聞かなくなります。子どもも「どうせ聞いてくれない」となりがちです。互いの思いを共有することの大切さは、言葉を話してからの方がより重要になってきます。

過保護と過干渉

児童精神科医の佐々木正美先生は言います。「子どもが求めることになるべく添おうとする『過保護』はたいして問題ではありません。できることはなるべくしてあげて、できないことはできないといえいいのです。ただ子どもが求めてもいないことを親が先取りする『過干渉』は気を付けたほうがいいです。生きる力を奪うからです。子どもや相手の気持ちにふれることを忘れてはいけません。 園長：久保田愛策

年間主題『平和とともに』

主題聖句：キリストはわたしたちの平和であります
新約聖書 エフェソの信徒への手紙 2章14節